


タイトル	現代ヨーロッパの若者の日本文化に対する関心の広がりについて ～フランスで開催される JapanExpo における調査より～			
分野	キーワード	①ジャポニスム	②kawaii	
社会科学				
研究者氏名: 紀 葉子 (所属: 社会学部社会学科)	[お問い合わせ先] TEL: 03-3945-7441 メールアドレス: kino@toyo.jp			

【概要】

ヨーロッパ最大のイベント JapanExpo に集う若者の関心はテレビアニメからマンガを経て日本の Kawaii 生活文化なかならずアイドル文化へと広がりをみせつつある。

【研究内容】2010 年に JapanExpo 会場で自記式アンケート調査を実施した結果をみると、世界で最も有名な日本人といわれるオノ・ヨーコの認知度は高いものの50%を越える若者に認知されているのは宮崎駿監督である。ヴィジュアル系と称される Gackt と Hyde の認知度も3割を超えるが、海外での活動機会が多い雅(Miyavi)が宮崎駿監督に次ぐ認知の高さを誇っている。人気マンガ家の由貴香織里に比肩して松本潤(嵐)の知名度が高い。日本人の少女たちの欲望を模倣し、その欲望の対象であるアイドルを同じように希求するという図式が想定されるが、同じ J-Pop のくくりの中でも ATUSHI(EXILE)の認知度は必ずしも高くはなく、少女マンガ的ヴィジュアルの要素が高いことが伺える。

また、LVMH 社とのコラボレーションでしられる村上隆に代表される新しいアート作家(高野綾、奈良美智)は、作品は知られているかもしれないが名前の認知にはつながっていない。合衆国を中心にスノッパなセレクトには人気が高く作品が高値で取引されることがあるにせよ、フランスのOTAKUには日本のオタク文化を昇華させたアーティストとして広く知られているとは云えそうにない。

また、同じ MURAKAMI であっても、たびたびノーベル文学賞候補としてあげられる村上春樹の知名度も高くなく、マンガが『ノルウェイの森』につながる道になることはなさそうである。80 年代にテレビアニメが開いた日本文化への関心はマンガの翻訳出版を定着させ、さらに、マンガに描き込まれた生活文化やマンガのような容姿のヴィジュアル系タレントやアイドルに広がっていることが伺える。

また、同じ MURAKAMI であっても、たびたびノーベル文学賞候補としてあげられる村上春樹の知名度も高くなく、マンガが『ノルウェイの森』につながる道になることはなさそうである。80 年代にテレビアニメが開いた日本文化への関心はマンガの翻訳出版を定着させ、さらに、マンガに描き込まれた生活文化やマンガのような容姿のヴィジュアル系タレントやアイドルに広がっていることが伺える。

また、同じ MURAKAMI であっても、たびたびノーベル文学賞候補としてあげられる村上春樹の知名度も高くなく、マンガが『ノルウェイの森』につながる道になることはなさそうである。80 年代にテレビアニメが開いた日本文化への関心はマンガの翻訳出版を定着させ、さらに、マンガに描き込まれた生活文化やマンガのような容姿のヴィジュアル系タレントやアイドルに広がっていることが伺える。

【実用化・活用が見込まれる分野・対象業種等】

文化産業 観光誘致

【関連特許】(特許名称・出願番号等)
